

臨時議会

平成29年第1回臨時議会は、1月30日
招集されました。
案件の大半は次のとおりです。

条例案件

◆吉野材の魅力発信拠点施設の設置及び管理に関する条例を制定すること
について (可決)

吉野町の木材関連産業の活性化、交流人口の拡大、地域振興及び住民福祉の向上を図る拠点施設として飯貝地内に設置した、吉野材の魅力発信拠点施設（通称「吉野杉の家」）の設置及び管理に関する事項を定めるため条例制定するものです。

◆吉野町税条例の一部を改正すること
について (可決)

地方税法等の一部改正に伴い、燃費性能等の優れた軽自動車の税率を軽減する特例措置（いわゆる「軽自動車税のグリーン化特例（軽減）」）について、平成29年度も引き続き適用するため条例の一部改正が行われました。

契約案件

◆(旧)国栖小学校校舎等解体工事請負契約の締結について (可決)

・契約方法 一般競争入札
・契約金額 45,360,000円
・契約の相手方 株式会社上田工務店
代表取締役 上田 秀幸(吉野町宮滝)
◆財産の取得に関する議決事項の一部変更について (可決)

・取得品目 3t塵芥車 3台
2t垂直ゲート付き深ダンプ架装車 2台

・契約の相手方
奈良日野自動車株式会社
代表取締役 松末 佳明
(磯城郡川西町大字唐院)

・変更事項 納入期日
変更前 平成29年2月28日
変更後 平成29年3月31日

予算案件

◆専決処分承認

平成28年度吉野町一般会計補正予算
(第5号) (承認)

・補正規模 700万円
・累計額 58億7,175万5千円
・歳入 △繰越金700万円
・歳出 △単独災害復旧事業(700万円)△H28.12.13～14の豪雨による町道敷地内石積の崩壊箇所の修復

◆平成28年度吉野町一般会計補正予算
(第9号)について (可決)

・補正規模 236万8千円
・累計額 58億7,412万3千円
・歳入 △繰越金236万8千円
・歳出 △吉野広域行政組合民生費負担金(236万8千円)△吉野広域行政組合より派遣されている職員の人件費

その他の案件

◆吉野材の魅力発信拠点施設に係る指定管理者の指定について (可決)

・公の施設の名称
吉野材の魅力発信拠点施設
(通称：吉野杉の家)
・指定管理者 Re:吉野と暮らす会
代表者 石橋 輝一(吉野町橋屋)
・期間
平成29年2月1日～平成32年3月31日

吉野と八女が友好交流植樹



左より北岡町長、八女市 三田村市長、五條元滋氏

1月26日、福岡県八女市黒木町の「げんき館おおち」で、八女市・吉野町友好交流植樹記念式典が開催されました。

八女市は、後醍醐天皇の皇子・懷良親王や後村上天皇の皇子・良成親王ゆかりの地で、親王の御陵墓や懷良親王の補佐役として九州に下向した五條頼元を始祖とし、今も多く宝物の残る五條家など、歴史文化に恵まれた自然豊かな町です。

吉野町と八女市は、南北朝時代から続く歴史的つながりを礎として、これまでの友好関係を更に推進することを目的に平成26年9月に友好交流都市協定を締結、交流を深めてきました。その交流の証として、吉野町の町花であり吉野山の象徴であるシロヤマザクラの記念植樹が実現し、600年以上の時を経て、懷良親王や良成親王が吉野の御所で一覽にいられたであろう吉野山の桜が九州・八女の地に移されました。また今秋には、良成親王のお手植えと

伝わる国の天然記念物「黒木の大藤」が八女市から贈られることになっています。

日本遺産認定記念公開シンポジウム

1月22日、下市観光文化センターで日本遺産認定記念公開シンポジウムが開催されました。

これは、文化庁の日本遺産に吉野地方が認定されたことを記念するシンポジウムで、吉野町や下市町、川上村など8町村の関係者が参加しました。

開会式で吉野地域日本遺産活性化協議会会長の北岡町長が「今回のシンポジウムで、日本遺産とは何か、また吉野地域の日本遺産の魅力は何かを再確認していただき、吉野地域の発展に繋がるようお願いします」とあいさつしました。

続いて、漫画家で日本遺産審査委員の里中満智子さんの講演や、「森とともに生きてきた吉野」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

日本遺産の認定を機に、吉野地域の振興と活性化に繋がることが期待されます。

